

D 10 コミュニティ・スクール

1 目標

- (1) 文科型コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会・学校地域協働本部等との連携を通して、目指す東の子ども像に向けて地域とともに子どもを育てる。
- (2) 学校と地域との連携の窓口となる学校協働コーディネーターや支援者と学校職員をつなぎ、スムーズな活動ができるように、連絡調整を行う。

2 運営計画

- (1) 学校協働コーディネーターとの連携・支援を行う。

- ・協働ボランティア年間計画の作成

※各学年、本年度ボランティアの必要な活動に

ついて、昨年度の計画をもとに作成願います。

【提出日】5月8日(月)

- ・学校職員のボランティア要請の集約

- (2) 学校運営協議会や地域学校協働ボランティア打合せ会等への参加

必要に応じて学校運営協議会やボランティア打合せ会に参加し、学校の状況や願いを伝えたり、運営協議会やボランティアからの学校への要望を職員に伝えたりする。

※地域学校協働ボランティア教職員合同会を5月26日(金)に開催し、ボランティアの方と教職員が協働活動について語り合う会を実施する。

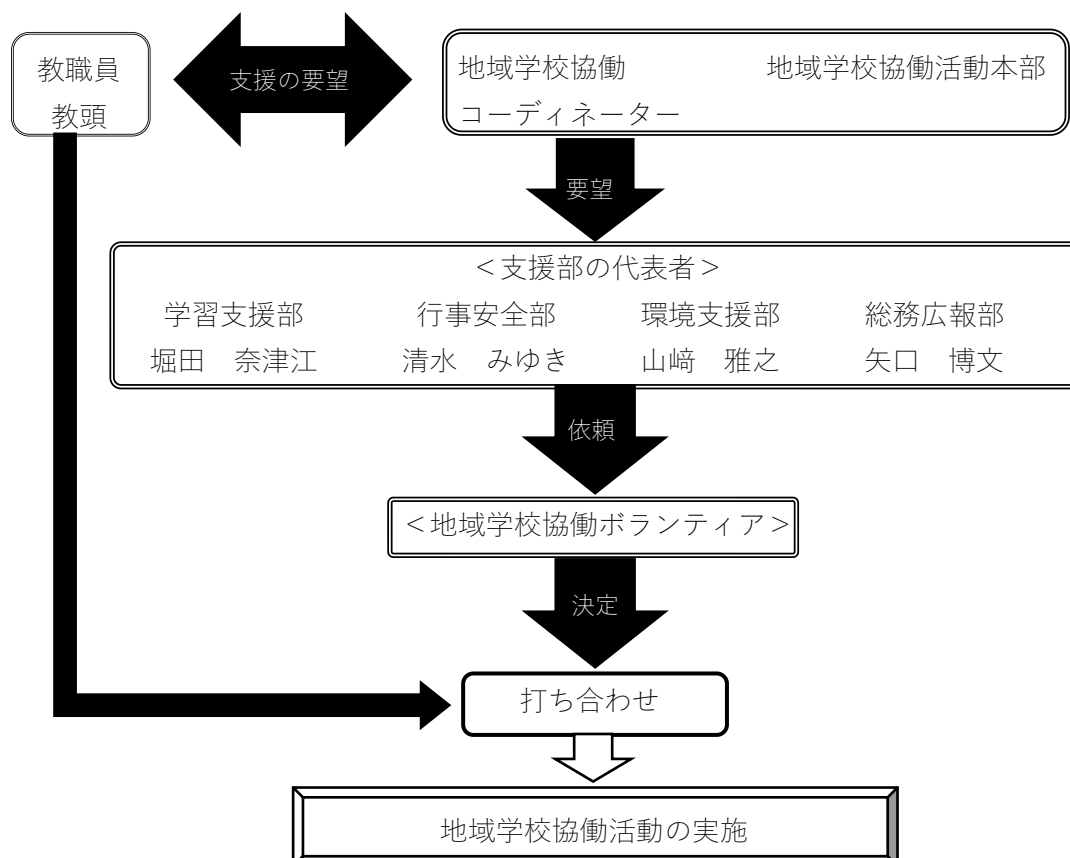
- (3) 「東小学校区内の宝」の活用方法について

平成30年度に学校支援ボランティア「ふるさと学習推進班」が作成してくれた教師用「東小学校区内の宝」および令和2・4年度に作成した「追記」をそれぞれの学年で活用していくよう推進をしていく。また、PTAにも配布して、地区行事等に活かしてもらう。(配布は学級部会か地区部会として、年度末に回収する。)

3 運営上の留意点

- (1) 学校支援ボランティア実施までの流れ

支援が必要な場合1ヶ月前に学校から学校支援コーディネーター・地域学校協働本部部長に支援の要望を依頼する。以下図のような流れとなる。決定後、担当職員から連絡をして事前打合せをする。



大町東小学校コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の協働体制（イメージ図）

